

南アルプス：塩見岳

◆日程 2022年10月29日(土)～30日(日)

◆メンバー L：OT、SD、TY

南アルプスの中央に鎮座する日本百名山・塩見岳に行ってきた。

10月29日(土) 天候：快晴

朝5時に横浜を出発した。秋晴れの週末は高速道路が混雑しやすいが渋滞前にすり抜けることが出来た。鳥倉林 道ゲート前の駐車場に9時半に到着。南アルプスはアクセスが悪いイメージがあるが渋滞を回避できれば朝発でも大丈夫だ。駐車場はそれなりに埋まっていたがその大半が日帰り登山者だった。塩見岳往復が人気だが手軽に烏帽子岳や小河内岳往復の登山者もいた。まずは紅葉を愛でながら登山口を目指して林 道(舗装路)を歩いた。登山口にはシーズン中のバス停と簡易トイレがあり一息入れて登り始めた。豊かな森林の中を快適に歩いた。寒くも暑くもなく天候も落ち着ついた10月下旬～11月上旬は登山のベストシーズンではないだろうか。数人とすれ違うのみで静かだ。日陰の所々でうっすら雪があるがアイゼンを付けるほどではなかった。チェーンアイゼンを携帯したが最後まで使わなかった。ほとけの清水で水を補給した。三伏峠小屋の水場は撤去されているようでこのコースの水場はここ一箇所のみ。ひと登りで三伏峠小屋に着いた。立派な小屋だがもうシーズンは終わっており閉まっている。小屋前のテント場はガラガラで我々を含めて2張のみ。まだ14時だが明日の長丁場に備えてテントでモグモグタイムとした。夕食はSDシェフの鳥鍋で暖まり19時前には皆眠りについた。深夜の星空が見事だったらしいが冬のシュラフが暖かく朝まで眠った。



<三伏峠を目指して>



<三伏峠小屋>

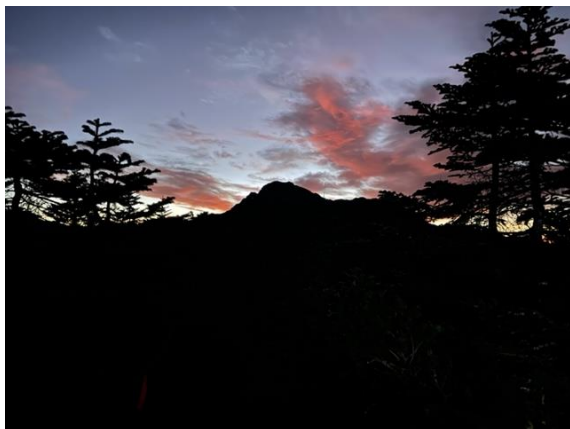
(記：TY)

CT：鳥倉林 道ゲート駐車場 9:30 - 鳥倉林 道登山口 10:15 - 豊口山のコル 11:30 - ほとけの清水 12:30 - 塩川・鳥倉ルート合流点 13:00 - 三伏峠小屋 13:30

10月30日(日) 天候：晴れ一時ガス

長丁場に備えて3時に起きた。氷点下と思われるがそれほど寒くない。昨夜の鍋の残り汁で雑炊をつくり体を温めた。アタック装備で4時20分に出発。ヘッドライトを点けて暗い道を進んだ。歩いている限りは寒くなかった。徐々に明るくなると周囲の稜線が浮かび上がる。前方に黒い兜のような塩見岳のシルエットが浮かび目標地点が明確になる。小さなアップダウンを繰り返して塩見小屋に着いた。もうすっかり明るくなり快晴の展望は見ごたえ十分だ。塩見小屋では一部冬季小屋を開放していた。広さは一畳程度で一人用テントも張れないスペースだったが緊急避難用にはありがたい存在だ。ここから山頂まではアルピニズム漂う岩稜帯だ。しっか

りとした鎖がついているので落ち着いて登れば問題ない。一時間ほど山頂に着いた。圧巻の展望があった。甲斐駒ヶ岳、仙丈岳、北岳、悪沢岳。南アルプスのジャイアンツ達。いつもと違う角度からの眺めに一時間ほど休憩した。仙塩尾根は是非歩いてみたい。山頂は静かだったが一人だけ登山者が居た。3000m 峰にも関わらずブレザーにゲートル。ザック無しでウエストポーチのみ。話してみるとクラシックスタイルに拘りをもって登っているとの事。色々な登山スタイルがあるものだ。下山を開始すると多くの日帰り登山者とすれ違った。3 時くらいから歩き始めているとの事。ウルトラライトで軽快に登るのが昨今の流行りなのかもしれない。山岳会でガッツリ担いでテント泊は少数派なのだろう。アタック装備で歩いている日帰り登山者に追い抜かれた。長時間歩行に慣れているのか皆、黙々と早い。休憩していると熊スプレーをホルスターに入れている女子の登山者と会った。日帰りの単独登山者で万が一に備えて熊スプレーを持っているのだと事。先日 YN さんが紹介していた二子山の熊のユーチューブの話をしたら別の登山者もそれ知っていると盛り上がった。みんなユーチューブ見てるんだな。三伏峠小屋に着くころにはガスが出てきたが稜線で見た景色には大満足で今シーズン一番ではないだろうか。テントを撤収して余韻に浸りながら鳥倉林 道ゲート駐車場まで歩いた。清流苑で汗を流し夕食をとって帰路に着いた。雨に泣かされたシーズンであったが最後に大展望のご褒美となった。



<夜明けの塩見岳シルエット>



<塩見岳登頂にて>

(記：TY)

CT：三伏峠小屋 4:20 - 本谷山 5:30 - 塩見小屋 7:20 - 塩見岳 8:20／9：07 - 塩見小屋 9:50 - 本谷山 11:20 - 三伏峠小屋 12：40 - 豊口山のコル 14：00 - 鳥倉林 道登山口 14：30 - 鳥倉林 道ゲート駐車場 15：20